



## 創立150周年記念集会から



11月21日(木)、朝の活動～1校時に、6年生の企画・準備・運営による標記集会『福井小学校 150歳のお誕生会』を行いました。モデルは、昨年の6年生による149周年集会です。先の記念コンサートは保護者や地域の方とも楽しみましたが、この集会は児童の手による児童会活動です。案を練って全校で実施した家族インタビューとその紹介、卒業生（福井中生）にも協力して立てたバースデーキャンドル、自分たちで調べて情報を集めた福井小学校〇×クイズ、全校で楽しめるゲームなど、豊かな内容でした。この創立150周年に、福井小学校の6年生であったから経験できた学びです。1～5年生も同様です。

### 【協力いただいた家族インタビューの内、発表させていただいた思い出】

- 父 38才 H10卒 授業中ケンカをしていた時の先生の注意。迷惑をかけて恥ずかしかった。
- 父 44才 H4卒 リレーの時にこけてビリになった。野球で金属バットが目にあたった。
- 父 51才 S60卒 奈良で集合写真を撮る時に鹿が目の前でフンを始めて変な顔で写ってしまった。
- 父 56才 S55卒 小学校1年生の時、福井小学校100周年記念だった。
- 本人 S50卒 3年生の時、講堂で「大阪のカエル、京都のカエル」のダンスを踊った。
- 本人 S50卒 運動場にぶら下がりシーソーがあり、スリルがあってずっと遊んでいた。
- 祖母 68才 S42卒 運動会では「スポン」と名のついた走り足袋で種目をこなしていた。
- 曾祖父 84才 S28卒 木造平屋の教室、先生は怖かった、皆仲よし、かくれんぼや缶蹴りで遊んだ。

各学年と本校職員2名のインタビューから、積み重ねてきた時間を感じました。裏面に、ご協力いただいたインタビューのまとめ（抜粋）を紹介します。

## ～創立150周年記念「福井小学校150歳のお誕生会」インタビューカードから～

### 1 先生に関して

先生が怖かった（厳しかった）、気軽に話せなかった、一緒に遊ぶことはなかった、悪いことをするとゲンコツやろうかに立たされた、今では「アウト」なこともあった、宿直室があって先生が交代で泊まっていた

### 2 子どもの遊びに関して

一輪車（あまり使われていなかったが、自分たちでブームを作りあげた）、鉄棒（落ちた痛い思い出もある）、ぶら下がりシーソー、あやとり、缶けり、ドッジボール、サッカー、放課後も遊んだ。けがも多かった



### 3 出来事や行事に関して

運動会が盛り上がっていた、運動会で楽器を演奏し、バトンを回しながら行進する鼓笛パレードをしていた、東四国国体が開かれ、鼓笛隊や聖火ランナーとして参加した、在学中、土曜日半日が、隔週休み、完全週休二日と変わった、内歩橋ができた

### 4 校舎に関して（創立100周年時→）

木造校舎だった、校舎裏のぽとんとトイレが怖かった（トイレの花子さんのうわさもあった）、プールが建て直された、新しい校舎に立て替わる時にプレハブ校舎で勉強した、教室にクーラーはなく下敷きをうちわ代わりにしていたが授業中は禁止だった、ニワトリ小屋やウサギ小屋があり、エサと掃除の当番があった



### 5 好きだった給食メニュー

1位は、ダントツでカレーライス

2位は、シチュー、きなこ揚げパン、ちくわの2色あげ、青リンゴゼリー、など



100周年から150周年を中心に振り返りますと、特にこの50年は学校を取り巻く環境が大きく変化しています。もちろん社会が大きく変化しているからですし、その速度がどんどん速くなっているからです。今年還暦の私は、6才で小学校に入学して以来、人生のほとんどを学校で過ごしましたので、まるで自分の変化のようにも思います。

皆様のインタビュー（全45通）からは「不易と流行」が伝わってきます。最も変わったのが先生、言い換えれば教育の在り方です。社会の変化に応じて教育も変化しています。一方、児童（子ども）はいつの時代も無限の可能性を秘めた存在であることに変わりありません。教育は、未来を託す人を育てる営みであることも変わりません。